

「フォート めぐり」

機器の電子化が進んだコックピット。左上の透明板には運航情報が映し出され、パイロットは前方を見たまま機器のチェックもできる



広くなった客室。照明は省電力のLED（発光ダイオード）が使われている

全日空ボーイング787 岡山—東京線に来月就航

滑らかなカーブを描く主翼。部品の組み立て装置は総社市の享栄エンジニアリングが製作した



機体に日本の技術導入

低燃費と乗り心地のづくほかに、鳥をイメ
良さが評判の最新鋭旅客機ボーイング787

機内（264席）は、気環境。標高2400
横幅が約75センチ、高さが山の山頂ほどだった低

が11月1日から全日空 織維の活用で軽くなっ
の岡山—東京線に就航 た機体は、最新鋭エン
する。岡山県内のメー ジンを搭載。燃費が従
カーを含め、日本の技 来機に比べて約20%向
術が生かされた機体 上した。全日空が開発
が、デビューを前に東 段階から開け、日本
京・羽田空港で公開さ 企業が全部品の35%を
れた。 担当。主翼部品の組み
丸い頭、ふくよかな 立て装置は、総社市久
おなか、滑らかに伸び 代の享栄エンジニアリ
る翼は先が少し反りあ ングが製作したもの
がっている。巨体は近 だ。 紹介したのは、機内の空

部品組み立て装置 享栄エンジニアリング製作

機体胸部はふっくらとして貨物スペースが広がった。左右に見えるジェット機の排気口はのこぎりの歯状で、これが騒音を低減するという



窓のある広々としたトイレ。温水洗浄便座も付いて快適そう

● 随時掲載